

毛呂山町の概要

毛呂山町は埼玉県入間郡の南西部、都心から 50 km 圏内に位置し、北は鳩山町、東は坂戸市、南は日高市、南から西にかけては飯能市、西から北にかけては越生町にそれぞれ隣接している。町域は東西約 9 km、南北約 7.5 km、総面積 34.03 k m²で、中央部がくびれた形をしている。西部には自然の多く残る緩やかな秩父山地があり、一部が県立黒山自然公園に指定されていて、ゆず・りんご等の果樹園や畑が多く、休日には観光客がハイキング等に訪れている。中央部及び東部の一帯は、越辺川と高麗川に挟まれた平地であり、中央部には市街地が形成され、東部の低地は水田地帯となっている。

昭和の初めに毛呂村と山根村が合併して毛呂山町となり、昭和 30 年に旧毛呂山町と川角村が合併して現在の毛呂山町となった。昭和 30 年代後半から住宅開発が進み中小住宅団地が形成されて、昭和 44 年に町全域を都市計画区域に指定、昭和 45 年に市街化区域と市街化調整区域の線引及び農業振興地域の指定を行った。平成 9 年より日本新都市開発が大規模ニュータウン（総区画数 1224 区画）「ガーデン・シティ目白台」の分譲を開始、平成 14 年に目白台地区が市街化区域に編入された。周辺都市からの流入により人口が急増し、平成 16 年 6 月 1 日現在、人口 37,017 人、世帯数 14,253 世帯となっているが、近年の人口はほぼ横ばい、世帯数は微増傾向で推移している。

交通は、町中央部を JR 八高線と東武鉄道越生線が縦断しており、JR「毛呂」駅を利用して高崎・八王子方面へ、また東武「東毛呂」駅・「武州長瀬」駅・「川角」駅を利用して越生・坂戸方面へと通じている。坂戸駅で東武東上線に乗り換えると池袋駅へは約 1 時間である。バス便は、東毛呂駅から埼玉医科大学付属病院、ガーデン・シティ目白台方面へ川越観光バスが運行している。道路は、主要地方道として南北に飯能寄居線、東西に川越坂戸毛呂山線が走り、一般県道として平坦地には川越越生線、岩殿岩井線、玉川坂戸線が、山間部には毛呂停車場鎌北湖線が通っている。

商業は 4 駅を中心とした 9 商店街で形成されており、商業機能が分散している。このため、都市化による変動に対応できず、購買力は町外へと流出する傾向にあったが、最近では、毛呂山町役場を中心とする半径 1 km 圏内にいなげや、ヤオコー、しまむら、ライフ、カインズホーム等の大型店が進出したことにより、町内での購買力の回復が見られる。

町は現在、平成 17 年度を目標年度とした第三次毛呂山町総合振興計画の後期基本計画を遂行中で、都市基盤や生活環境の整備、社会福祉の充実、産業の振興等を行っている。長瀬特定土地区画整理事業と武州長瀬駅南口土地区画整理事業は既に完了し、今後は駅周辺の整備や毛呂山工業団地の早期実現が期待されている。昔から「桂木ゆず」として有名なゆずの産地であり、平成 11 年にオープンした「ゆずの里オートキャンプ場」等を利用した観光産業を推進しつつ、900 年以上の伝統を誇る「流鏝馬」や鎌北湖等の観光資源を活かして、豊かな自然環境の保全と調和を図りながら発展するものと思われる。

平成 16 年 6 月 4 日作成